

お知らせ

黙とうのお願い

平成20年岩手・宮城内陸地震から14年を迎える6月14日、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするため、黙とうを行います。

合図として、防災行政無線でサイレンを鳴らします。
日時 6月14日(火)
午前8時43分から30秒間

総務部総務課
☎(22)1122

令和4年度栗原市総合防災訓練

岩手・宮城内陸地震などの経験と記憶を後世に伝え、大規模自然災害についての認識を深めることにも、防災・減災を目的として、総合防災訓練を実施します。

日時 6月12日(日)
午前8時43分～
場所 サン・スポーツランド栗駒

市民自主避難訓練

総合防災訓練に併せて、市民自主避難訓練も実施します。訓練の開始は、防災行政無線や安全安心メールでお知らせします。その場にじゃがむ、

自主的な防災に努めましょう

県土木部総合情報システム

県内の河川・砂防の情報を取りアルタイムで公開
URL <https://www.doboku.sougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servelet/Gamen30Server>

県砂防総合情報システム

危険箇所の土砂災害発生関連情報を提供し、早期避難や警戒避難体制を支援
URL <https://www.doshasai.gai.pref.miyagi.jp/midski/>

県河川流域情報システム

県内の雨量や河川の水位およびダム各種情報を提供し、大雨洪水時の警報や警戒態勢情報を伝達
URL <https://www.dobokusou.gou.pref.miyagi.jp/miyagi/servelet/Gamen1Server>

防災情報の収集

災害情報をはじめとした各種行政情報を、さまざまな方法でお知らせしています。市の情報媒体、日頃から情報媒体を利用して情報収集を心掛け、避難行動などに役立ててください。

令和4年第3回栗原市議会定例会

次のおり議会定例会を開催します。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴は席数を減らして受け付けします。

日程・内容
6月14日(火)本会議 会期の決定、議案の提案理由説明など
21日(火)～23日(木)本会議 一般質問(個人質問)議 一般質問(個人質問)議
24日(金)本会議 一般質問(個人質問)、議案の総括質疑など
27日(月)各常任委員会・分科会 付託議案審査
28日(火)本会議 各常任委員会等委員長報告、質疑、討論、採決など
※土・日曜日は休業
※一般質問や議案の件数によって、会期を変更する場合があります。

物につかまるなど各自で身の安全を確保した後、経路を確認しながら避難場所へ移動する訓練をお願いします。
※自主訓練の際は、マスク着用、手指消毒など、新型コロナウイルスの感染対策を実施してください。
総務部危機対策課
☎(22)1149

6月は土砂災害防止月間

6月は降雨による土砂災害が多い時期です。次の情報などを活用し、家族や地域での

開会時間 午前10時～
※6月14日(火)、28日(火)は、午後1時30分開会
場所 市役所4階 議場
傍聴 席数12席
※車いすで傍聴できます。
※マスクの着用をお願いします。
請願・陳情の提出 本定例会で審査する請願または、紹介する陳情は、6月23日(木)正午までに議会事務局へ提出してください。
議会中継の視聴方法
本会議の中継は、本庁舎および各総合支所のテレビで視聴できる他、パソコンやスマートフォン、タブレットで市ウェブサイトの議会情報から、インターネット中継を視聴することができます。
URL <https://smart.discuss.vision.net/smart/tenant/kurihara/WebView/rd/council.1.html>
議会事務局
☎(22)1170

気象の情報

注意報・警報や危険度分布(キキクル)については、気象庁ウェブサイトを確認してください。
URL <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
総務部危機対策課
☎(22)1149

下水道を利用する皆さんへ

調理後の廃油を下水道管へ多量に流すと、管内で固まって詰まる原因となります。油脂は新聞紙に吸収させるか、処理袋や処理剤を利用して処分してください。
飲食店や油を多く使用する事業者は、阻集器(グリーストラップ)などを定期的に点検、清掃し、油脂が流れ出ないように管理してください。トイレには、トイレレットペーパー以外は絶対に流さないでください。
上下水道部施設課
☎(42)1133


市長随感

栗原市長 佐藤 智

次代へ継承するために

栗駒山麓を中心に大きな被害をもたらした、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震発生から今年で14年となります。地震発生以降、ご支援・ご協力をいただきました皆さまに、改めて感謝と御礼を申し上げます。この地震を忘れないために、栗駒山麓ジオパークの活動が始まりました。家族で学べる防災・減災教育の場としてオープンした、栗駒山麓ジオパークビジターセンターは、小・中学生の子どもたちをはじめ、多くの人に来場いただいております。

また、子どもたちのためにとの思いから、栗駒山麓ジオパークプロジェクトに賛同いただいた企業さまから「企業版ふるさと納税」として寄付を頂戴し、タブレットで学べるジオ読本のデジ



▲小学校でのジオパーク学習

市内の文化財散策

みの(ケラ)

かつて、雨の日が続く季節に活躍したのは、みのと呼ばれる雨具でした。現在、その役割はレインコートに変わったものの、中国から技が伝わった以来、千年以上使用されてきた民具です。

みのには全国各地に存在し、共通する用途は雨・雪よけですが、日よけや防寒にも使われる他、荷物を背負うのに使ったり、野外で座るとき敷き物にしたりと万能で、人々の生活に身近なものでした。材料は、わら、かや、まこもなどさまざまで、しゅろの莖葉や、藤、ヤマブドウのつる皮で編むこともあります。

東北のみは立派なものも多く、多雪でみのを必要とする機会が多いこと、長い冬の手仕事として制作の時間が十分にあったことが、影響していると考えられています。

地域にある素材で、用途に適した形で作られているものは、呼称もさまざまです。栗原では「トバケニ」、「ケニ」と呼ばれることが多く、みのが持つ多くの名称の中で最も古



▲壁飾り用のみのと笠



▲みの(ケラ)

種別 民具
問 教育部文化財保護課
☎(42)3515